

窓の中の地平

幾つかの階調を

鳥の羽のように

柔らかく含み込んだ

緑の地平線

都会の中での緑地帯は

いつも夢か、理想か

そんな具合にしか存在しなかった

その緑の地平が今

架空の視角を得て

地球の厚みで確実にこの向こうに

その存在を信じさせてくれる

祈りのような

僕の緑の地平

何故地上の生活を離陸した

危険な空間でのみ

小さく区切られた高層の窓の中でのみ

望むことができるのか

この緑の地平を眼に映したまま

内蔵のみを地上に垂下せよと言っただろうか